

平成28年度

# 上尾市立小・中学校学力調査結果

〈概要〉

(平成28年4月27日実施)



《上尾市webサイト掲載用》

— 夢・感動教育 あげお —  
上尾市教育委員会

# 目 次

<b>1</b>	<b>学力調査実施の概要</b>	
(1)	調査の趣旨	1
(2)	調査対象	1
(3)	調査期日	1
(4)	調査教科及び調査時間	1
(5)	使用検査紙	1
(6)	調査人数	1
<b>2</b>	<b>上尾市学力調査結果の概要</b>	2
<b>3</b>	<b>学校別・学年別調査結果の概要</b>	
	【小学校】 総合	3
	【中学校】 総合	4
<b>4</b>	<b>教科別調査結果の概要</b>	
	【小学校】	5
	【中学校】	6
<b>5</b>	<b>領域別・観点別調査結果の概要</b>	
	【小学校】	7
	【中学校】	11
<b>6</b>	<b>各教科の課題と改善の視点</b>	
	【小学校】	15
	【中学校】	15
<b>7</b>	<b>質問紙調査結果の概要</b>	
	【小学校第6学年】	18
	【中学校第3学年】	25
<b>8</b>	<b>まとめ</b>	32

# I 学力調査結果の概要

## 1 調査の趣旨

本市児童生徒の学力の実態を把握するとともに、課題を明らかにして学習指導の改善を図ることにより、確かな学力を育成する。

## 2 調査対象

小学校 3. 4. 5. 6年

中学校 1. 2. 3年

## 3 調査期日

平成28年4月27日（水）

## 4 教科及び調査時間

小学校：第3学年～第6学年 国語（40分）、算数（40分）

中学校：第1学年 国語（40分）、算数（40分）

中学校：第2学年・第3学年 国語（45分）、数学（45分）、英語（45分）

※ 出題範囲は、前年度の学年の学習内容

※ 小学校第6学年、中学校第3学年で質問紙調査を実施

## 5 使用検査紙

T K式領域別標準学力検査（田中教育研究所編）

## 6 調査人数

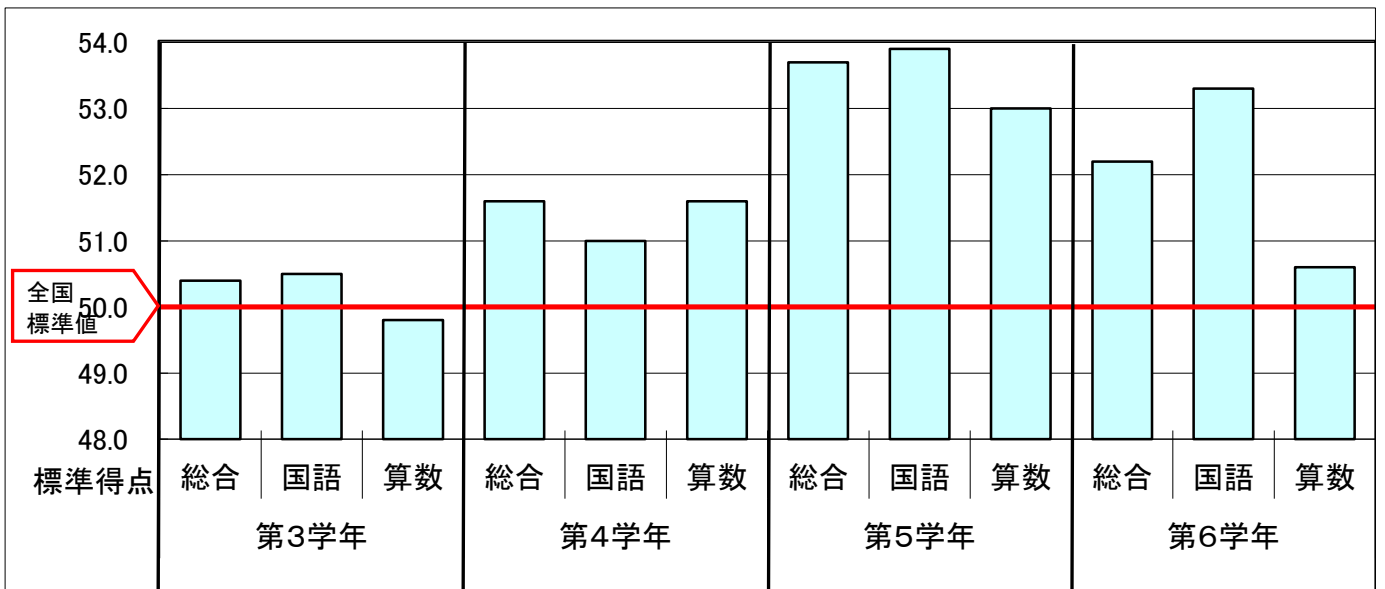
	国語		算数・数学		英語	
	調査人数	実施率(%)	調査人数	実施率(%)	調査人数	実施率(%)
小学校	7,744	98.3	7,745	98.3	—	—
中学校	5,768	97.0	5,766	97.0	3,875	96.1
合計	13,512	97.8	13,511	97.7	3,875	96.1

## 2 上尾市学力調査結果の概要

【小学校】

全体 51.9

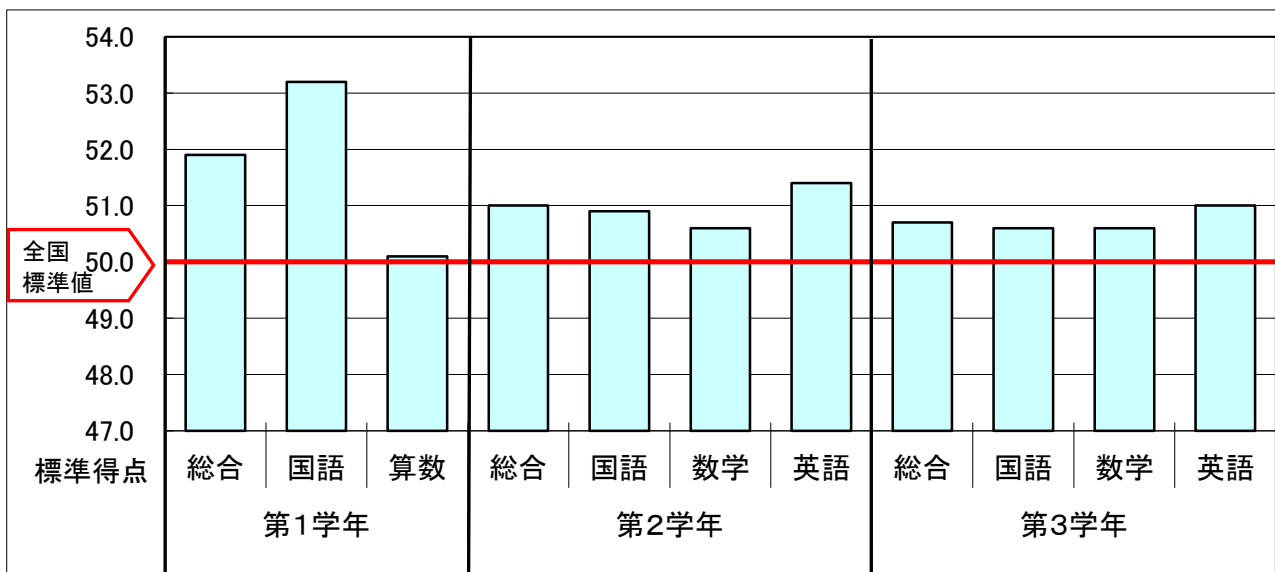
	第3学年			第4学年			第5学年			第6学年		
	総合	国語	算数	総合	国語	算数	総合	国語	算数	総合	国語	算数
平成27年度	50.4	50.5	49.8	51.6	51.0	51.6	53.7	53.9	53.0	52.2	53.3	50.6



【中学校】

全体 51.2

	第1学年			第2学年				第3学年			
	総合	国語	算数	総合	国語	数学	英語	総合	国語	数学	英語
平成27年度	51.9	53.2	50.1	51.0	50.9	50.6	51.4	50.7	50.6	50.6	51.0



### 3 学校別・学年別調査結果の概要

〔表の見方〕

- ① 数値は、全国標準値を50.0とした場合の各学校の数値である。
- ② 小学校22校、中学校11校の学校全体の平均値と各学年の平均値をそれぞれ数値の高い順に示している。
- ③ 同じ行の数値が、すべて同じ学校のものであるとは限らない。

#### 【小学校】

総合（国語と算数を統合した数値）成績一覧

	学校全体	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
1	55.1	53.3	56.3	59.7	57.6
2	54.7	53.3	55.4	56.0	55.9
3	54.5	52.8	54.5	55.8	54.2
4	54.2	52.8	54.5	55.7	54.0
5	53.8	52.2	53.3	55.1	53.2
6	52.8	51.5	52.3	55.1	53.1
7	52.3	51.5	52.2	54.5	52.5
8	52.2	51.3	52.1	54.4	52.4
9	52.2	50.9	52.0	54.4	52.4
10	51.9	50.5	51.7	54.3	52.2
11	51.8	50.3	51.6	54.1	52.1
12	51.7	50.0	51.5	54.0	51.6
13	51.6	49.4	51.4	53.5	51.4
14	51.3	49.2	51.3	53.3	51.2
15	51.0	48.9	51.2	52.7	50.9
16	50.8	48.6	50.8	52.7	50.7
17	50.5	48.6	50.6	52.6	50.5
18	49.9	47.7	50.2	52.6	49.7
19	49.4	47.3	49.1	52.0	49.4
20	49.3	46.6	49.0	51.9	48.9
21	49.1	46.6	47.0	49.0	48.6
22	48.6	45.0	46.5	48.7	48.3
上尾市全体	51.9	50.4	51.6	53.7	52.2

【中学校】

総合（第1学年は国語と算数、2・3学年は国語と数学と英語を統合した数値）一覧

	学校全体	第1学年	第2学年	第3学年
1	53.1	55.3	53.1	53.0
2	52.5	53.3	52.5	52.9
3	52.1	52.6	52.4	52.1
4	52.0	52.4	52.2	52.1
5	51.9	52.1	52.1	50.9
6	51.7	52.0	51.2	50.8
7	51.4	51.5	50.6	50.7
8	50.5	51.2	49.8	50.6
9	50.5	50.8	49.3	49.8
10	46.8	49.8	47.2	46.1
11	46.5	47.2	45.6	45.3
上尾市全体	51.2	51.9	51.0	50.7

(分析)

【小学校】

- 小学校では、22校中17校において、学校全体の総合成績が全国標準値を上回っている。
- 小学校では、上尾市全体として全国平均を上回っている。学年別の状況も、すべての学年で全国平均を上回っている。

【中学校】

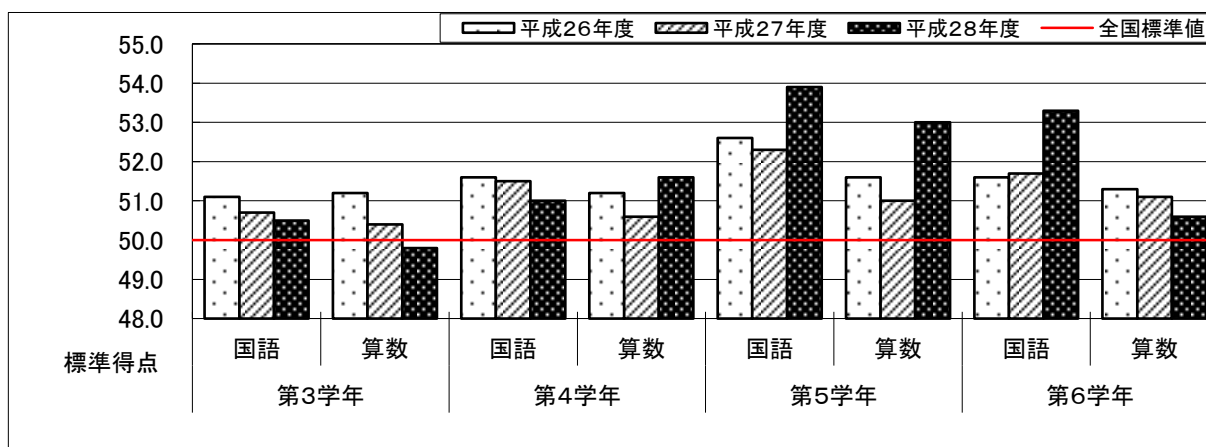
- 中学校では、11校中9校において、学校全体の総合成績が全国標準値を上回っている。
- 中学校では、上尾市全体として全国平均を上回っている。学年別の状況も、すべての学年で全国平均を上回っている。

## 4 教科別調査結果の概要

### 【小学校】

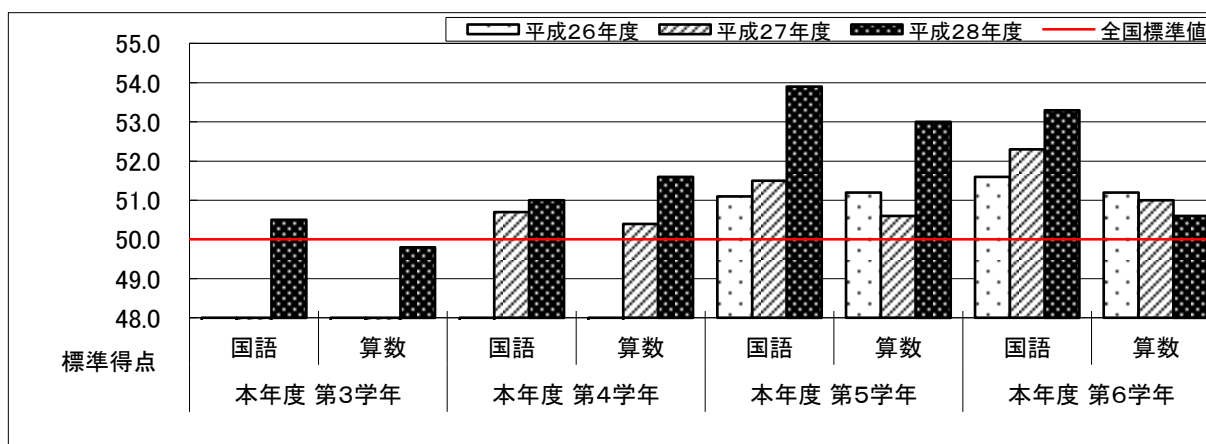
(1) 平成26年度～平成28年度の同学年における比較

	第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
平成28年度	50.5	49.8	51.0	51.6	53.9	53.0	53.3	50.6
平成27年度	50.7	50.4	51.5	50.6	52.3	51.0	51.7	51.1
平成26年度	51.1	51.2	51.6	51.2	52.6	51.6	51.6	51.3



(2) 平成26年度～平成28年度と同グループにおける比較

	本年度 第3学年		本年度 第4学年		本年度 第5学年		本年度 第6学年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
平成28年度	50.5	49.8	51.0	51.6	53.9	53.0	53.3	50.6
平成27年度	*	*	50.7	50.4	51.5	50.6	52.3	51.0
平成26年度	*	*	*	*	51.1	51.2	51.6	51.2



(分析)

本年度も、国語は全学年において全国標準値を上回っている。算数は3学年以外において全国標準値を上回っている。

【同学年における比較】

○ 3年間の経過を見ると、小学3年生の算数以外で全国標準値を上回っている。

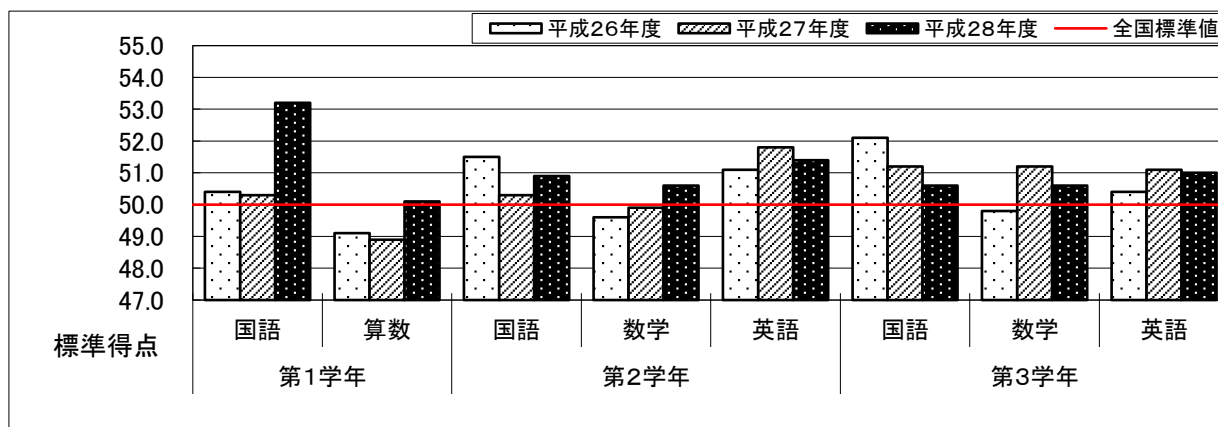
【同グループにおける比較】

○ 昨年度との比較では、国語で第4学年から第6学年での伸びが見られる。算数では第4学年、第5学年で伸びが見られる。

## 【中学校】

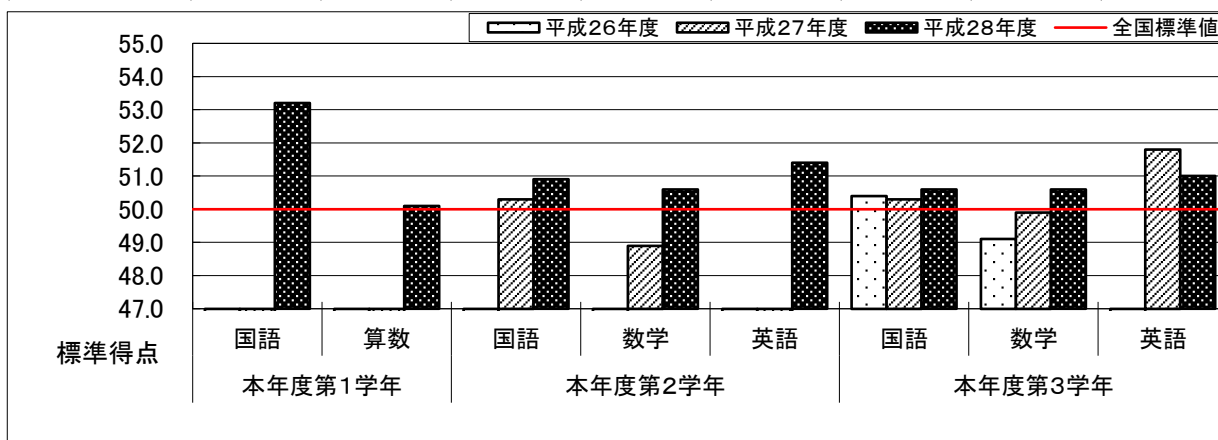
### (1) 平成26年度～平成28年度の同学年における比較

	第1学年		第2学年			第3学年		
	国語	算数	国語	数学	英語	国語	数学	英語
平成28年度	53.2	50.1	50.9	50.6	51.4	50.6	50.6	51.0
平成27年度	50.3	48.9	50.3	49.9	51.8	51.2	51.2	51.1
平成26年度	50.4	49.1	51.5	49.6	51.1	52.1	49.8	50.4



### (2) 平成26年度～平成28年度と同グループにおける比較

	本年度第1学年		本年度第2学年			本年度第3学年		
	国語	算数	国語	数学	英語	国語	数学	英語
平成28年度	53.2	50.1	50.9	50.6	51.4	50.6	50.6	51.0
平成27年度	*	*	50.3	48.9	*	50.3	49.9	51.8
平成26年度	*	*	*	*	*	50.4	49.1	*



#### (分析)

本年度は、すべての学年において、国語、数学（算数）、英語ともに全国標準値を上回っている。

#### 【同学年における比較】

- 昨年度との比較では、第1・2学年の国語、数学（算数）において伸びが見られる。
- 3年間の経過を見ると、全ての学年で国語、英語が全国標準値を上回っている。

#### 【同グループにおける比較】

- 昨年度との比較では、第3学年英語以外で伸びが見られる。
- 3年間の経過を見ると、第3学年の数学が伸びている。



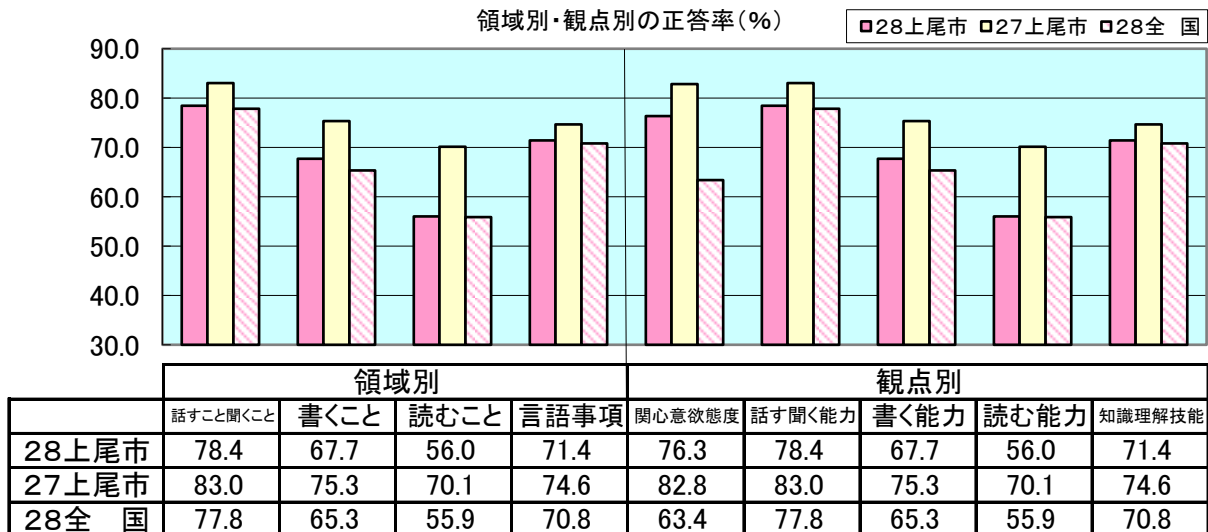
## 5 領域別・観点別調査結果の概要

- ※ 領域：学習指導要領に示されている各教科における指導内容の区分
- ※ 観点：観点別学習状況の評価の観点
- ※ 正答率：各領域・観点ごとの問題数に対する正答数の割合

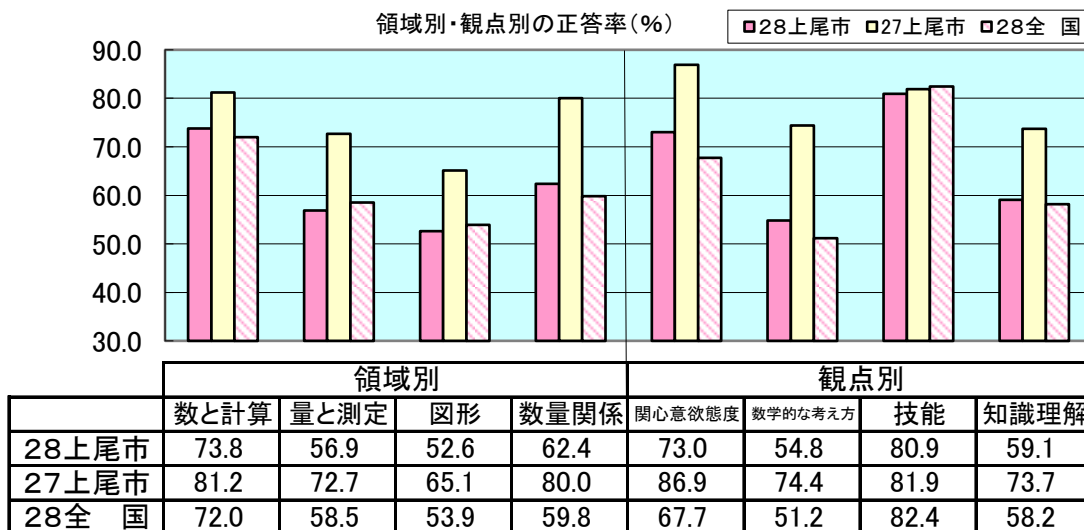
### 【小学校】

#### (1) 第3学年（第2学年の学習内容）

##### 【国語】



##### 【算数】



(分析)

##### 【国語】

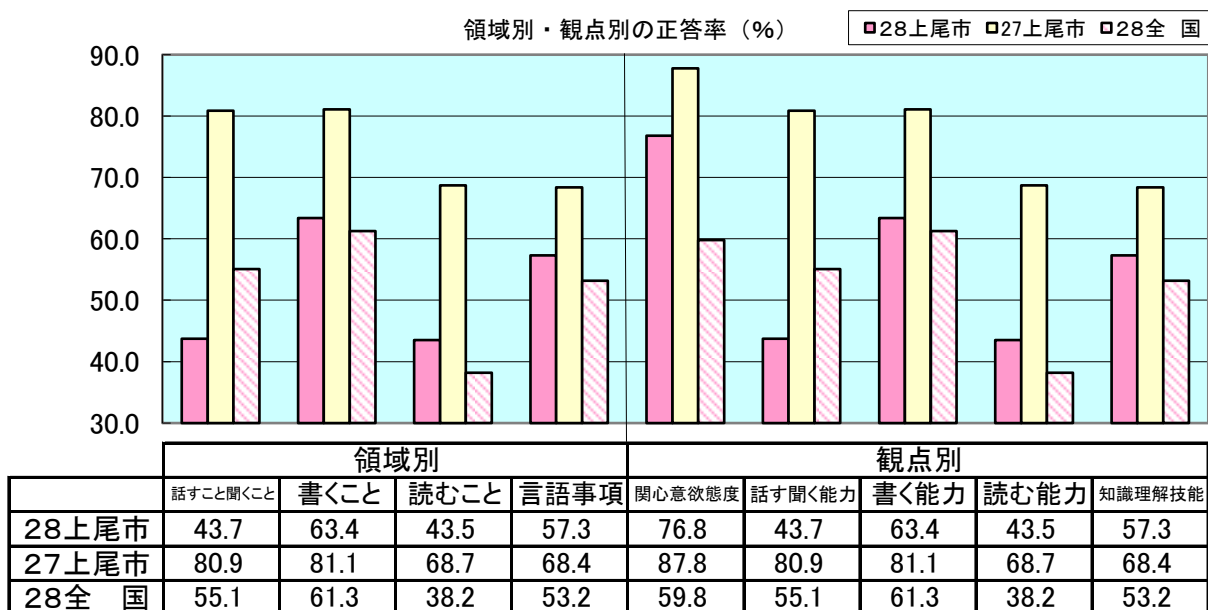
- 全ての領域・観点で、全国の正答率を上回っている。
- 全ての領域・観点で、昨年度の正答率を下回っている。
- 問題別では、「場面の様子や、気持ちを考えながら読むこと」「カタカナで書く言葉が分かること」の問題が、全国の正答率を下回り、課題がある。

##### 【算数】

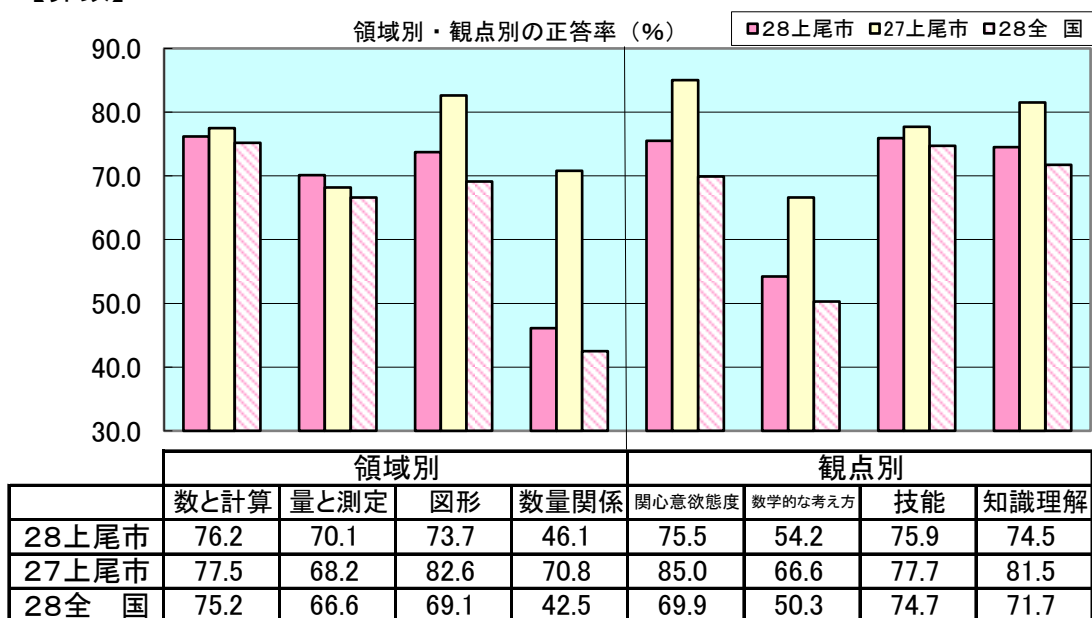
- 領域別の「量と測定」「図形」、観点別の「技能」以外で、全国の正答率を上回っている。
- すべての領域・観点で昨年度の正答率を下回っている。
- 問題別では、「長さの単位とはかり方」「時刻と時間について」「三角形や四角形」「簡単な表やグラフ」の問題が、全国の正答率を下回り、課題がある。

(2) 第4学年(第3学年の学習内容)

【国語】



【算数】



(分析)

【国語】

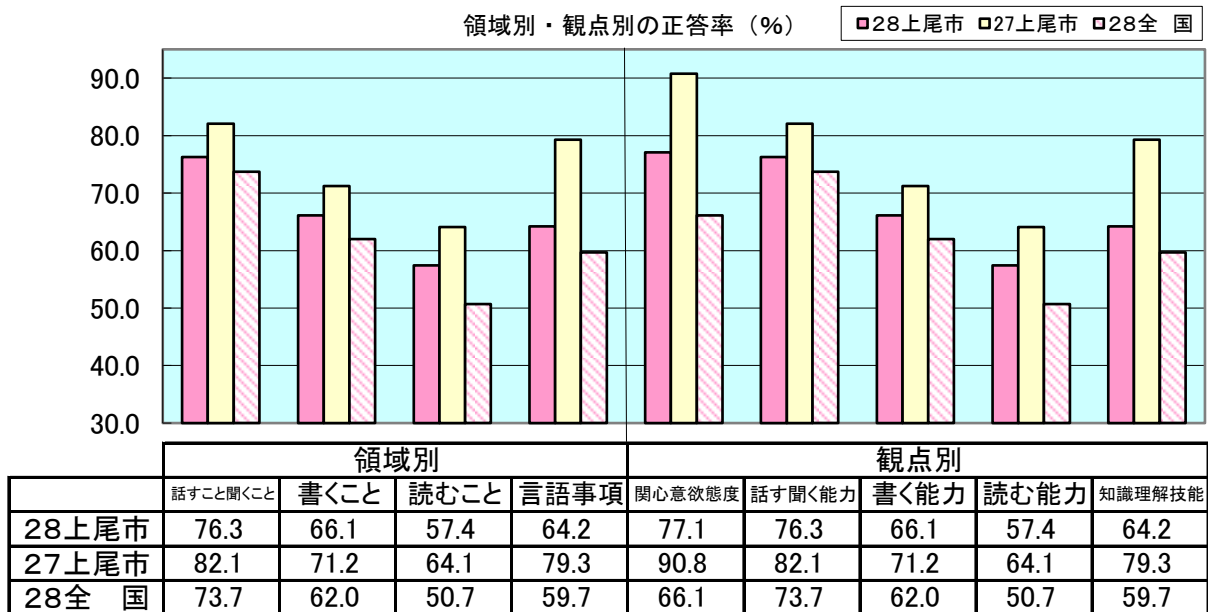
- 領域別「話すこと聞くこと」、観点別では「話す聞く能力」以外の領域、観点で、全国の正答率を上回っている。
- 全ての領域・観点で、昨年度の正答率を下回っている。
- 問題別では、「大事なことが伝わるように話し、聞くこと」が全国の正答率を大きく下回っており課題である。「目的に合わせて手紙を書くこと」「ローマ字を書くこと」も、全国の正答率を下回り、課題がある。

【算数】

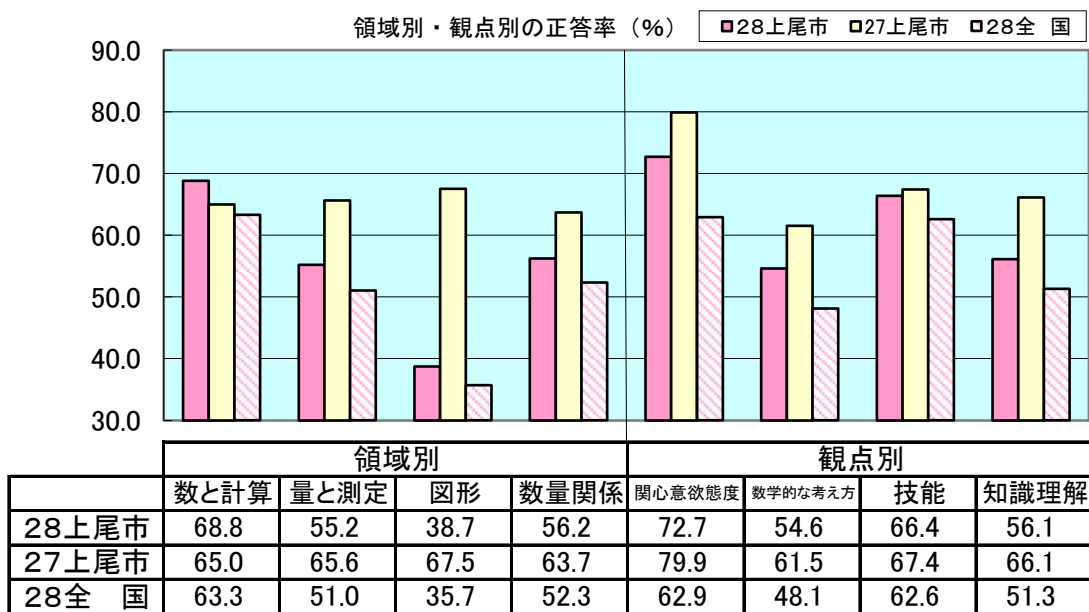
- すべての領域・観点で全国の正答率を上回っている。
- 領域別の「量と測定」以外の領域別・観点別で、昨年度の正答率を下回っている。
- 問題別では、「加法と減法の計算」「除法の計算」の問題が、全国の正答率を下回り、課題がある。

(3) 第5学年(第4学年の学習内容)

【国語】



【算数】



(分析)

【国語】

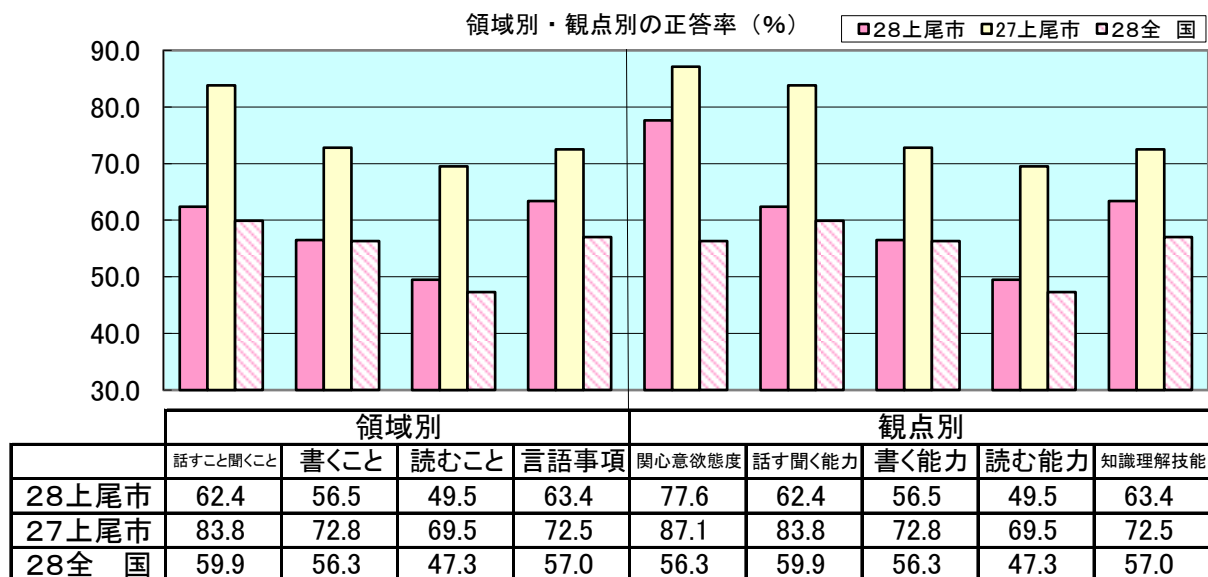
- 全ての領域・観点で、全国の正答率を上回っている。特に領域別の「読むこと」、観点別の「読む能力」で全国の正答率を大きく上回っている。
- 全ての領域・観点で、昨年度の正答率を下回っている。
- 問題別では、「朗読を聞き、内容をとらえ質問に答えること」で全国の正答率を下回り課題がある。

【算数】

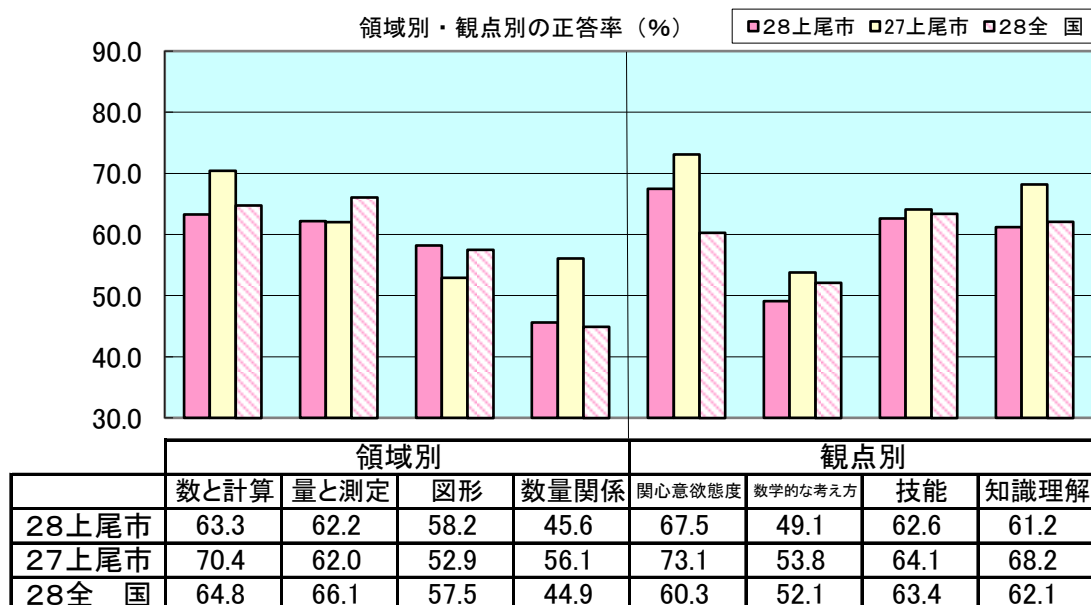
- すべての領域・観点で、全国の正答率を上回っている。
- 領域別の「数と計算」以外の領域・観点で、昨年度の正答率を下回っている。
- 問題別では、すべての問題で全国の正答率を上回っている。

(4) 第6学年(第5学年の学習内容)

【国語】



【算数】



(分析)

【国語】

- 全ての領域・観点で、全国の正答率を上回っている。特に、領域別の「言語事項」、観点別の「関心意欲態度」「知識理解技能」で全国の正答率を大きく上回っている。
- 全ての領域・観点で、昨年度の正答率を下回っている。
- 問題別では、「資料をもとにして表現を工夫して書くこと」「漢字の成り立ちが分かる」で全国の正答率を下回り、課題がある。

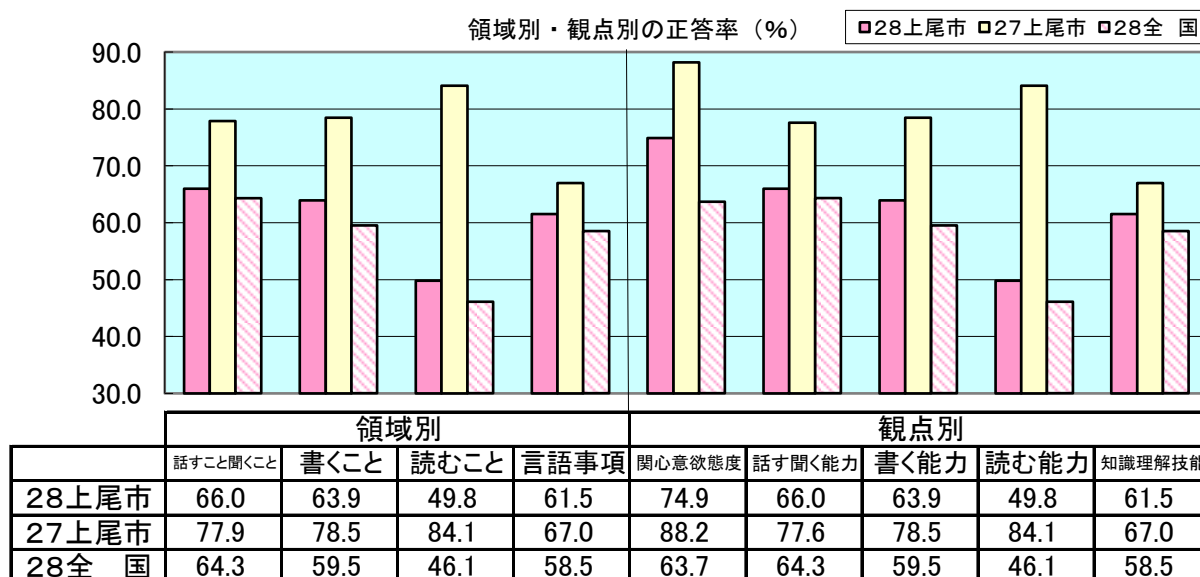
【算数】

- 領域別の「図形」「数量関係」、観点別の「関心意欲態度」が全国の正答率を上回っている。
- 領域別の「量と測定」「図形」以外で、昨年度の正答率を下回っている。
- 問題別では、主に「小数の記数法と乗除法の関係」「図形の合同についてわかること」で全国の正答率を下回り、課題がある。

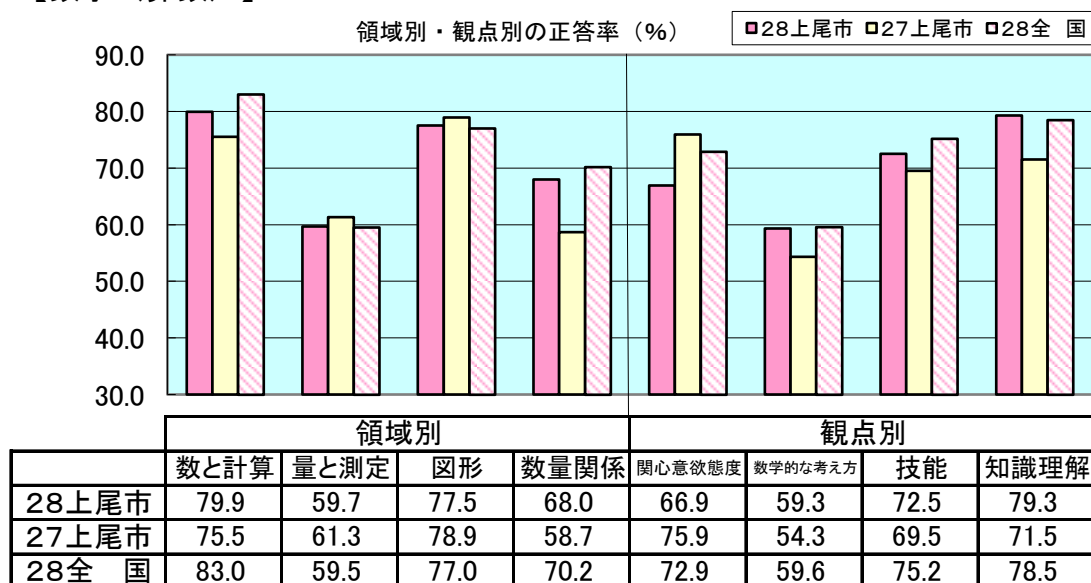
【中学校】

(1) 第1学年（小学校第6学年の学習内容）

【国語】



【数学（算数）】



(分析)

【国語】

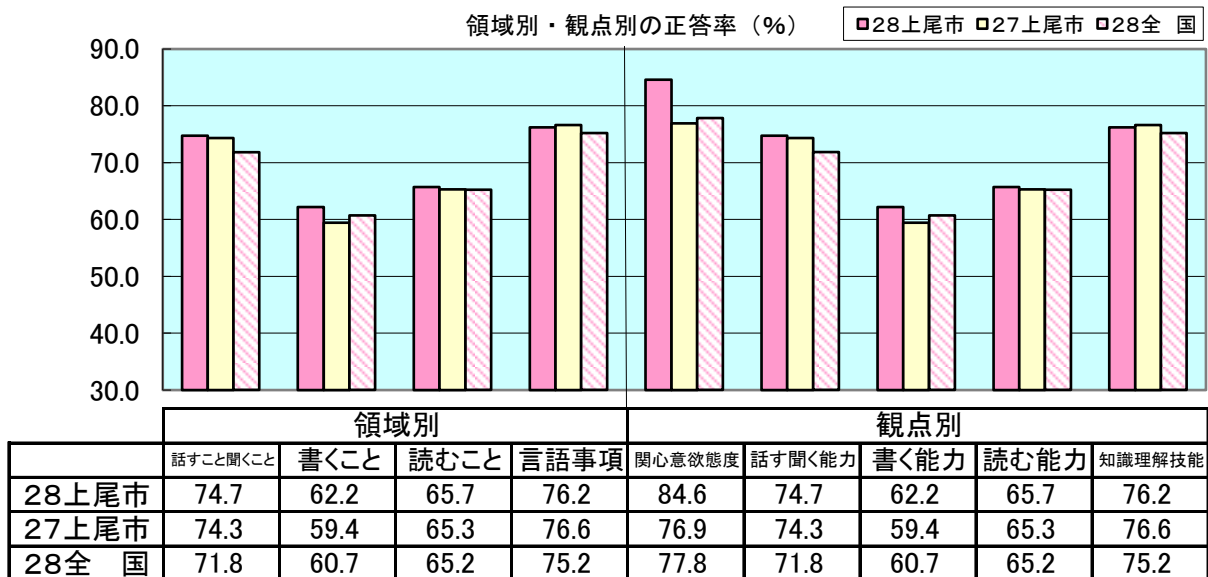
- 全ての領域・観点で、全国の正答率を上回っている。
- 全ての領域・観点で、昨年度の正答率を下回っている。
- 問題別では、「和語、漢語などの言葉の由来について分かる」「適切な敬語の使い方が分かる」の問題が、全国の正答率を下回り、課題がある。

【数学（算数）】

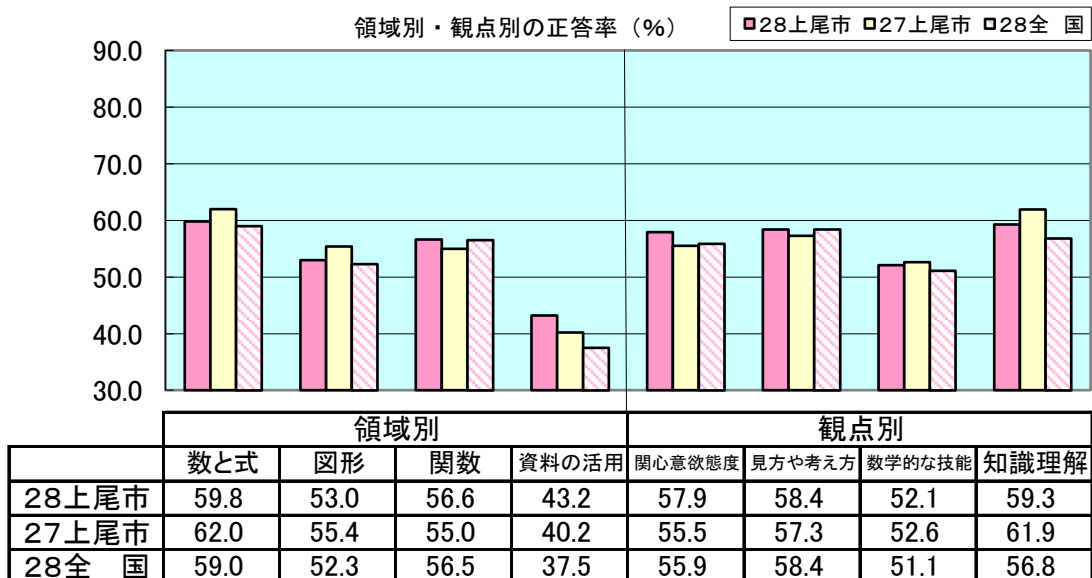
- 領域別の「量と測定」「図形」、観点別の「知識理解」が、全国の正答率を上回っている。
- 領域別の「数と計算」「数量関係」、観点別の「数学的な考え方」「技能」「知識理解」が昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、主に「比例と反比例について理解し、計算すること」「文字を用いた式」の問題が、全国の正答率を下回り、課題がある。

(2) 第2学年(第1学年の学習内容)

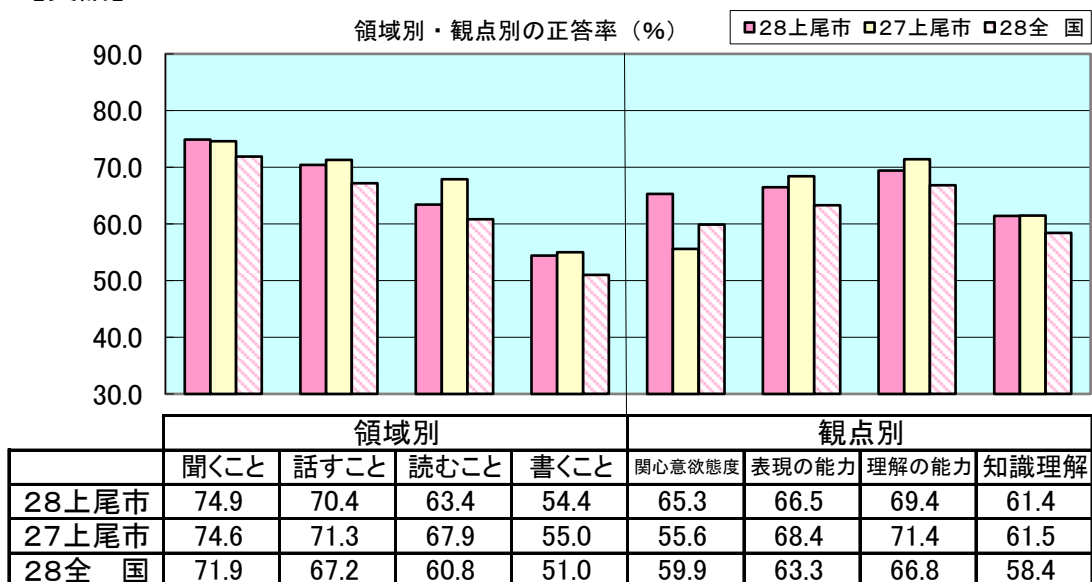
【国語】



【数学】



【英語】



(分析)

【国語】

- 全ての領域・観点で、全国の正答率を上回っている。
- 領域別の「言語事項」、観点別の「知識理解技能」以外で、昨年度の正答率を上回っている。
- 全ての問題で、全国の正答率を上回っている。

【数学】

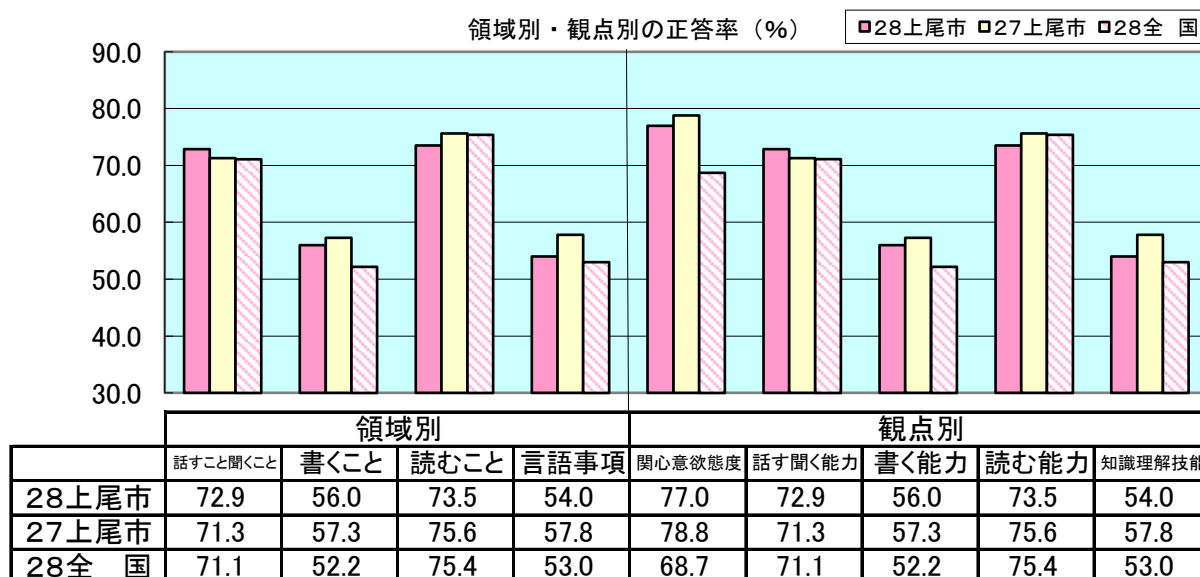
- 観点別の「数学的な見方や考え方」以外で、全国の正答率を上回っている。
- 領域別の「関数」「資料の活用」、観点別の「関心意欲態度」「数学的な見方や考え方」が昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、「一次方程式を解くこと、比例式について」「比例・反比例のグラフや対応表」についての問題が、全国の正答率を下回り、課題がある。

【英語】

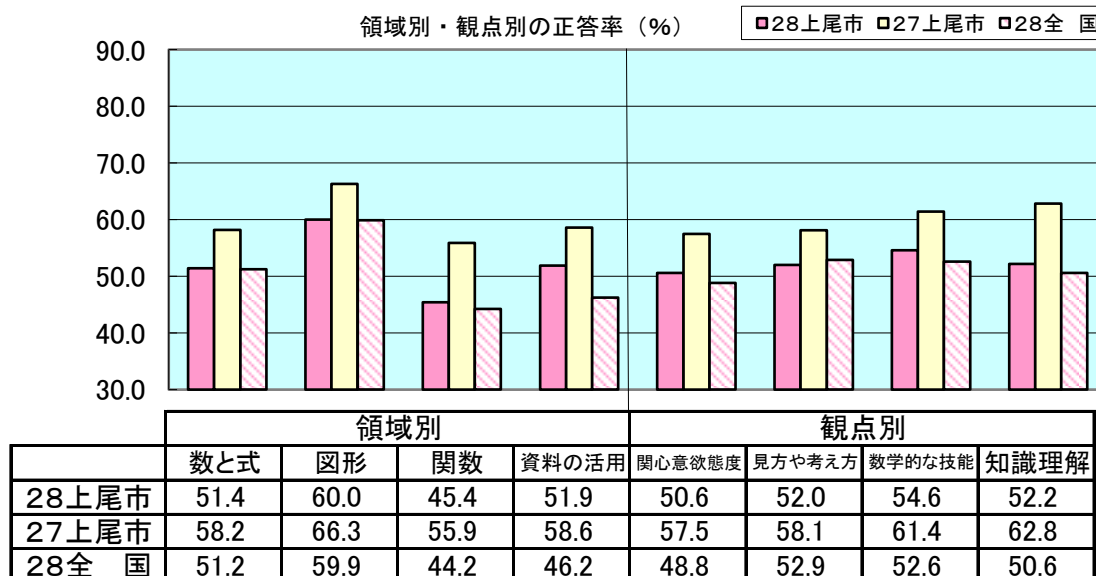
- すべての領域・観点で、全国の正答率を上回っている。
- 領域別の「聞くこと」観点別の「意欲関心態度」以外のすべての領域・観点で、昨年度の正答率を下回っている。
- 問題別では「指示に従って英文を書き換えること」と「英文の誤りを適切な形に直すこと」の問題が正答率50%を下回り、課題がある。

(3) 第3学年(第2学年の学習内容)

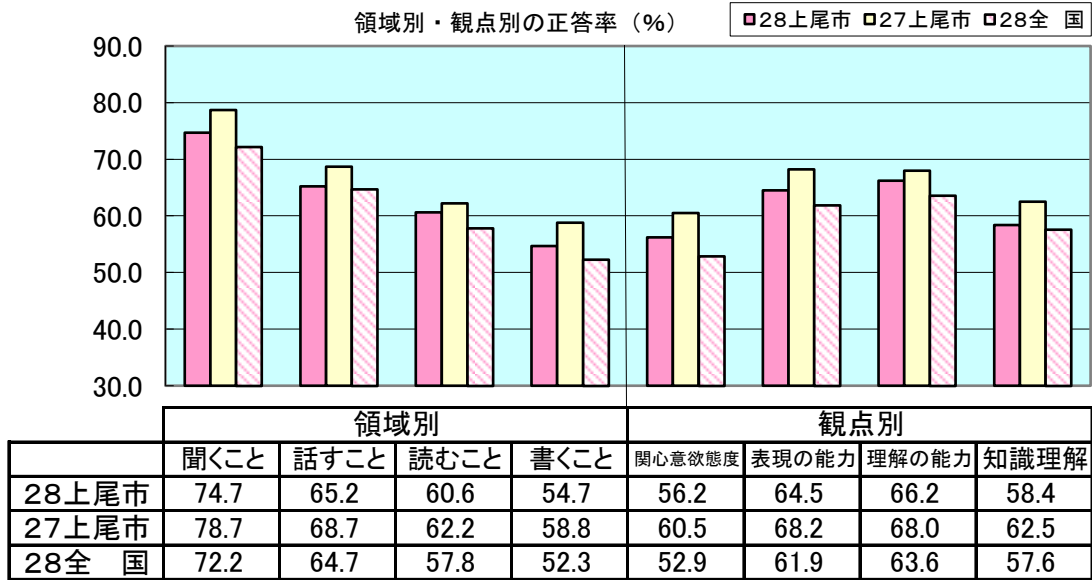
【国語】



【数学】



【英語】



(分析)

【国語】

- 領域別の「読むこと」観点別の「読む能力」以外で、全国の正答率を上回っている。
- 領域別の「話すこと聞くこと」、観点別の「話す聞く能力」で、昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、「インタビューや司会をする時の注意が分かる」「短歌の内容を正しくとらえること」「人物の心情や情景を想像しながら読むこと」「人物の気持ちに注意しながら読み取ること」「現代語訳を参考に古文の内容をとらえること」の問題が、全国の正答率を下回り、課題がある。

【数学】

- 観点別の「数学的な見方や考え方」以外の領域別・観点別で、全国の正答率を上回っている。
- すべての領域・観点で、昨年度の正答率を下回っている。
- 問題別では、「連立方程式を解くこと」「三角形の性質を利用して角度を求めること」「四角形の性質を理解し、証明すること」「グラフの意味を理解し、式に表すこと」の問題が全国正答率を下回り、課題がある。

【英語】

- すべての領域・観点で、全国の正答率を上回っている。
- すべての領域・観点で、昨年度の正答率を下回っている。
- 問題別では、「基本的な単語や文型を理解して書くこと」の問題が、正答率50%を下回り、課題がある。



## 6 各教科の課題と改善の視点

### 【小学校】

#### (1) 国語

全体的には、全国の正答率を上回る状況である。主語述語、漢字を読む、書くこと等については指導の成果が見られ、該当する問題で全国平均を上回っている。しかし、4年生の領域別「話すこと聞くこと」観点別の「話す聞く能力」で全国平均を下回り、課題が見られ、問題別では、4年生の「大事なことが伝わるように話し、聞くこと」、5年生の「朗読を聞き、内容をとらえ質問に答えること」などの話すこと聞くことに関する設問や、書くことの工夫に関する設問、カタカナやローマ字の標記について課題があることから、以下に重点を置いて指導にあたる。

- ア 日常生活や各教科の学習で、既習事項を活用し、言語能力の定着を図る。(話の中心を明確にして話す。話の中心を意識して聞く。メモの取り方を工夫する。など)
- イ 単元の学習を通じて、児童に身に付けさせる力を明確にし、課題解決を通して、自ら学び、課題を解決していく能力の育成を図る。
- ウ 個に応じた教材の開発や学習形態・学習方法の工夫に努め、児童の実態に応じた学習活動を展開する。(ヒントカード、発問の工夫等)
- エ 言葉の特徴やきまりや漢字等について、当該学年で身に付ける内容を明確にし、継続的に指導すると共に、実生活の中で意図的に活用する機会を設けるなどして、計画的に指導する。(カタカナの使い分け、ローマ字等)
- オ 学習に関する興味関心を高める手段、効率的に既習事項を振り返る手段として、デジタル教科書などのICT機器の活用を図る。

#### (2) 算数

全体的には、全国の正答率を上回る状況である。観点別の「関心・意欲・態度」は全国に比べ高い水準にあるが、それ以外の観点別に課題がある。児童の算数に対する関心・意欲・態度を生かし、基礎的・基本的な内容を確実に定着させ、それらを進んで活用できる思考力・表現力を育成させ、数学的な見方や考え方をもちつことよさに気づかせるために、以下に重点を置いて指導にあたる。

- ア 学習内容をより一層の定着を図るため、日常生活に関連した導入問題の提示・工夫することで、児童が問題を解決する必要感を実感し、児童自ら課題意識をもって粘り強く問題解決する指導を充実させる。そのために、算数的活動をより一層充実させる。また、多様な見方や考え方を表出させ、共有化し、思考を高める指導を徹底する。その手立ての一つとして、ICT機器の効果的かつ積極的な活用を推進する。
- イ 身に付けた知識や技能を整理し、それらを活用するための思考力・表現力を育成し、算数のよさが実感を伴って味わえるような指導方法の工夫・改善を図る。
- ウ 観点別学習状況の評価規準や評価方法を明確にして、指導と評価の計画を作成し、児童一人一人に応じた指導の手立てや支援の仕方を工夫する。
- エ 児童の多様な考え方や表現による数理的な処理のよさを生かし、児童相互による比較・検討を行わせ、言語活動を充実させ、よりよい考え方や結果を追究する過程を重視した学習活動を展開する。
- オ 身に付けた知識や技能を定着させる適用問題を解かせ、児童に達成感・成就感を味わわせるとともに、それらを進んで活用する資質・能力を育成する。
- カ 繰り返し指導や振り返りを充実させ、授業内容の習熟を図る。

## 【中学校】

### (1) 国語

全体的には、全国の正答率を上回る状況である。しかし、領域別では3年生の「読むこと」、観点別では「読む能力」に課題がある。意欲的に授業に取り組み、基礎的・基本的な内容を確実に定着させ、それらを活用したり、国語で学んだことを他教科へ発展させたりするために、以下に重点を置いて指導にあたる。

ア 教師の説明を中心とした授業から、教えるべきことを教えた上で、課題解決を通して、生徒同士が学び合う、言語活動を重視した授業を展開し、指導事項の定着を図る。

イ 思考力や判断力、表現力の育成を目指し、「話すこと・聞くこと」・「書くこと」・「読むこと」を関連させ、日常生活に活用する事例やさまざまな文章、資料を意図的・計画的に取り上げ、自ら学び、課題を解決していく能力の育成を図る。

ウ 学習に関する興味関心を高め、学習に関する情報収集や情報発信の手段として、デジタル教科書などのICT機器の活用を図る。

エ 小学校から高等学校に向けて系統立てた指導を行い、単元を通じて身に付けさせる力を明確にするとともに、具体的な評価規準と評価方法を設定し、生徒の実態に応じた学習活動を展開する。

オ 発達の段階に応じた良書にふれさせることで、読書に親しむ態度を育成するとともに、豊かな創造力や表現力、語彙力を育てる。

カ 辞書等を使って、なじみの薄い語句や使用頻度の低いと思われる漢字などを積極的に調べる機会を意図的に設け、具体的な言語活動の中で調べた語句等の定着を図るように指導する。

### (2) 数学

全体的には、全国の正答率を上回っている状況である。しかし、観点別の「関心・意欲・態度」に課題がある。そのため、意欲的に授業に取り組み、基礎的・基本的な内容を確実に定着させ、それらを進んで活用できる思考力・表現力を育成させ、数学的な見方や考え方をもちことよき気付けさせるため、以下に重点を置いて指導にあたる。

ア 生徒が興味・関心や目的意識をもって授業に臨めるよう、ねらいを明確にし、日常生活と関連のある問題を提示し、そこから生起する課題を意識させ、数学的活動を重視して、生徒が主体的に学習できるようにする。

イ 生徒の習熟の程度を把握し、補充的な学習や発展的な学習などの指導方法の工夫・改善を図るとともに、繰り返し指導を行うことによって学習内容の定着を図り、学ぶことの楽しさと達成感・成就感を味わわせる学習展開を工夫する。

ウ 教材研究をより一層充実させ、教材のもつ意味や価値、小学校との円滑な接続を図る観点から、系統性や発展性、また、他の内容や教科等との関連を明確にする。

エ 観点別評価規準を明確にし、適切な評価方法を設定して、指導と評価の一体化を図り、生徒一人一人の学習状況に応じたきめ細かな支援を行う。

オ 生徒が学習内容をよく理解し、納得し、実感できるように、多様な見方や考え方ができる問題や場面の工夫、思考を深める発問や指示を工夫するとともに、ICT機器の効果的かつ積極的な活用を図ることで、わかる授業を展開する。

### (3) 英語

全体的に、全国の正答率を上回る状況である。しかし、問題別にみると「指示に従って英文を書き換えること」、「英文の誤りを適切な形に直すこと」、

「基本的な単語や文型を理解して書くこと」などの「正しく書くこと」についてやや課題が見られることから、以下に重点を置いて指導にあたる。

ア 学習の目標や指導内容、指導方法を明確にし、指導課程や学習形態を工夫するとともに、個に応じた指導などきめ細かな指導の充実を図る。

イ 授業において生徒に英文を書かせる場面を多く設定し、教師自身が書いた英文は正確であるかどうかここに指導する場面を設定する。

ウ 具体的な評価規準や評価方法を設定し、単元を見通した評価を重視した指導と評価の計画を作成し、生徒一人一人の学習状況に応じた支援を工夫する。

エ 家庭学習を定着させ、基本的な単語は常に練習する習慣を身に付けさせる。

オ 言語の使用場面や言語の働きに配慮し、生徒が主体的に生き生きと授業に取り組めるよう、言語活動の充実を踏まえた学習展開や学習活動の工夫を図る。

## 7 質問紙調査結果の概要

【小学校第6学年】 ※ 総合は、国語と算数の問題数の合計から求めた正答率である。

(1) 学校に来る前に、きちんと朝ごはんを食べてきますか。

朝食の 摂取状況	1 食べてくる	2 食べてくる ほうが多い	3 食べてこない ほうが多い	4 食べてこない	無答 もしくは重答
	92.9%	4.0%	2.5%	0.7%	0.0%

朝食と正答率の関係

	1 食べてくる	2 食べてくる ほうが多い	3 食べてこない ほうが多い	4 食べてこない	市全体	全 国
総 合	59.6	44.7	48.3	36.0	58.6	57.8
国 語	58.4	47.0	49.1	39.1	57.6	54.6
算 数	60.8	42.4	47.6	32.9	59.5	60.9

(分析)

上尾市全体の約93%の児童が、学校に来る前にきちんと朝ごはんを食べてきている。各教科のいずれも「きちんと朝ごはんを食べてくる」と答えた児童の正答率だけが、市及び全国の正答率を上回っている。

(2) 早寝、早起きを心がけていますか。

起床・就 寝の状況	1 いつも心が けている	2 だいたい心 がけている	3 あまり心が けていない	4 心がけてい ない	無答 もしくは重答
	38.5%	44.8%	13.5%	2.9%	0.4%

早寝、早起きと正答率の関係

	1 いつも心が けている	2 だいたい心 がけている	3 あまり心が けていない	4 心がけてい ない	市全体	全 国
総 合	58.2	59.3	58.5	52.5	58.6	57.8
国 語	57.1	58.5	57.8	50.7	57.6	54.6
算 数	59.3	60.2	59.2	54.4	59.5	60.9

(分析)

「だいたい心がけている」を含めて、83%以上の児童が早寝、早起きを心がけている。「心がけていない」と答えた児童は市及び全国の正答率を下回っている。

(3) 一日の睡眠時間はどれくらいですか。(土曜、日曜日は除く)

睡眠時間	1 6時間より 少ない	2 6～7時間	3 7～8時間	4 8～9時間	5 9～10時間	6 10時間以上	無答 もしくは重答
	3.0%	8.0%	17.1%	40.0%	26.7%	4.9%	0.2%

睡眠時間と正答率の関係

	1 6時間より 少ない	2 6～7時間	3 7～8時間	4 8～9時間	5 9～10時間	6 10時間以上	市全体	全 国
総 合	45.0	54.4	60.0	60.8	57.9	54.3	58.6	57.8
国 語	47.5	53.2	59.0	59.2	57.4	54.4	57.6	54.6
算 数	42.5	55.6	60.9	62.5	58.4	54.1	59.5	60.9

(分析)

平均睡眠時間は8～9時間が最も多く、8～10時間の睡眠をとっていると答えた児童が全体の約67%となっている。国語、算数ともに平均睡眠時間が8～9時間の児童の正答率が最も高く、市及び全国の正答率を上回っている。

(4) 身の回りのこと(整理・整頓など)は、自分でしていますか。

整理整頓	1 自分でしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	無答 もしくは重答
	57.7%	33.2%	8.3%	0.6%	0.3%

整理整頓と正答率の関係

	1 自分でしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	市全体	全国
総合	59.7	58.3	53.6	35.4	58.6	57.8
国語	58.9	56.8	53.6	39.5	57.6	54.6
算数	60.6	59.8	53.6	31.3	59.5	60.9

(分析)

「しているほうが多い」を含め、身の回りのことを自分でしている児童が約91%となっており、身の回りの整理・整頓はおおむね自分でやっている現状である。「自分でしている」児童の正答率だけが、市の正答率を上回っている。「自分でしていない」と答えた児童は、市及び全国の正答率を大きく下回っている。

(5) 先生や友だち、近所の人に出会った時、あいさつをしていますか。

あいさつ	1 あいさつをしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 あいさつをしていない	無答 もしくは重答
	64.9%	28.3%	6.2%	0.5%	0.2%

あいさつと正答率の関係

	1 あいさつをしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 あいさつをしていない	市全体	全国
総合	59.3	57.5	56.8	45.4	58.6	57.8
国語	58.0	57.2	57.2	40.6	57.6	54.6
算数	60.7	57.8	56.4	50.2	59.5	60.9

(分析)

「しているほうが多い」を含め、あいさつをする児童が93%以上であり、多くの児童があいさつをしている。あいさつをする児童は、市の正答率と上回っている。一方、「していないほうが多い」を含め、あいさつをしていない児童は、市の正答率を下回っている。

(6) 相手や場面に応じて、言葉づかいに気をつけていますか。

ていねいな言葉づかい	1 気をつけている	2 いるほうが多い	3 いないほうが多い	4 気をつけていない	無答 もしくは重答
	67.9%	27.7%	3.8%	0.6%	

言葉づかいと正答率の関係

	1 気をつけている	2 いるほうが多い	3 いないほうが多い	4 気をつけていない	市全体	全国
総合	59.7	57.0	53.0	38.7	58.6	57.8
国語	58.6	56.3	53.1	36.2	57.6	54.6
算数	60.8	57.7	53.0	41.3	59.5	60.9

(分析)

「気をつけているほうが多い」を含め、言葉づかいに気をつけている児童は95%以上となっている。言葉づかいに「気をつけている」児童の正答率のみが、市の正答率を上回っている。「気をつけていないほうが多い」を含めて、気をつけていない児童の正答率は、市及び全国の正答率を下回っている。

(7) 学校のものや公共物を大切にしていますか。

ものの扱い方	1 大切にしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	無答 もしくは重答
	83.9%	15.0%	0.8%	0.1%	

ものの扱い方と正答率の関係

	1 大切にしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	市全体	全国
総合	59.4	54.5	47.3	43.5	58.6	57.8
国語	58.3	54.2	46.3	40.0	57.6	54.6
算数	60.5	54.8	48.3	47.0	59.5	60.9

(分析)

「大切にしているほうが多い」を含め、大切にしている児童は約99%となっており、ほぼ全員の児童が学校のものや公共物を大切にしている。「大切にしている」と答えた児童の正答率は、市の正答率を上回っており、逆に「大切にしていないほうが多い」を含め、大切にしていない児童の正答率は市及び全国の正答率を下回っている。

(8) 学校のきまりを守って生活していますか。

きまりを守る	1 守っている	2 守っているほうが多い	3 守っていないほうが多い	4 守れていない	無答 もしくは重答
	64.3%	32.6%	2.6%	0.2%	

学校のきまりと正答率の関係

	1 守っている	2 守っているほうが多い	3 守っていないほうが多い	4 守れていない	市全体	全国
総合	59.5	57.2	53.6	52.3	58.6	57.8
国語	58.2	56.9	53.0	44.7	57.6	54.6
算数	60.8	57.5	54.2	60.0	59.5	60.9

(分析)

「守っているほうが多い」を含め、学校のきまりを守って生活している児童は約97%となっており、ほとんどの児童が学校のきまりを守って生活している。「きまり守って生活している」と答えた児童の正答率のみが、市の正答率を上回っている。「守っていないほうが多い」を含め、守れていない児童の正答率は、国語で市及び全国の正答率を下回っている。

(9) 普段ものごとを最後までやり遂げようとしていますか。

やり遂げる	1 している	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	無答もしくは重答
	56.2%	37.8%	4.5%	0.7%	0.8%

ものごとをやり遂げることと正答率の関係

	1 している	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	市全体	全国
総合	61.0	56.4	50.8	39.1	58.6	57.8
国語	59.4	56.0	52.8	41.7	57.6	54.6
算数	62.7	56.8	48.8	36.4	59.5	60.9

(分析)

「ものごとを最後までやり遂げようとしている」「やり遂げようとしているほうが多い」と答えた児童は94%で、多くの児童がものごとを最後までやり遂げようとしている。「している」と答えた児童のみが、市及び全国の正答率を上回っている。「していないほうが多い」を含めて、やり遂げようとしていない児童の正答率は、市及び全国の正答率を下回っている。

(10) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日～金曜日)1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾や家庭教師を含む)

勉強時間	1 3時間以上	2 2～3時間	3 1～2時間	4 30分～1時間	5 30分より少ない	6 まったくしない	無答もしくは重答
	12.2%	18.1%	38.4%	20.9%	7.8%	2.3%	0.3%

勉強時間と正答率の関係

	1 3時間以上	2 2～3時間	3 1～2時間	4 30分～1時間	5 30分より少ない	6 まったくしない	市全体	全国
総合	67.3	60.4	58.9	57.3	48.7	40.0	58.6	57.8
国語	63.5	57.9	57.7	58.0	50.5	43.7	57.6	54.6
算数	71.0	62.9	60.0	56.5	46.9	36.4	59.5	60.9

(分析)

学校の授業時間以外に1日あたり1～2時間勉強をしている児童が最も多く、1時間以上勉強している児童は、約69%になっている。少なくとも1時間以上勉強している児童の正答率は、市の正答率を上回っている。また、30分より少ない児童の正答率は、市及び全国の正答率を大きく下回っている。

(11) 学校の授業で黒板に書いてあることや、先生の説明をノートに書いていますか。

書くこと	1 きちんと書いている	2 書いているほうが多い	3 書いていないほうが多い	4 書いていない	無答 もしくは重答
	77.8%	18.4%	2.3%	0.2%	

ノートに書くことと正答率の関係

	1 きちんと書いている	2 書いているほうが多い	3 書いていないほうが多い	4 書いていない	市全体	全国
総合	60.2	54.3	44.4	15.3	58.6	57.8
国語	58.9	54.3	45.8	22.0	57.6	54.6
算数	61.5	54.3	42.9	8.5	59.5	60.9

(分析)

「書いているほうが多い」を含め、板書等を書いている児童は96%以上となっている。「きちんと書いている」と答えた児童の正答率のみが、市及び全国の正答率を上回っている。

(12) 授業中に発言をしますか。

発言する	1 よく発言する	2 ときどき発言する	3 ほとんど発言しない	4 まったく発言しない	無答 もしくは重答
	25.6%	44.6%	23.2%	5.5%	

授業中の発言と正答率の関係

	1 よく発言する	2 ときどき発言する	3 ほとんど発言しない	4 まったく発言しない	市全体	全国
総合	64.5	58.2	55.0	50.5	58.6	57.8
国語	61.6	57.2	55.7	52.5	57.6	54.6
算数	67.3	59.3	54.4	48.5	59.5	60.9

(分析)

「ときどき発言する」と答えた児童がもっとも多く、児童全体の約45%を占めている。「よく発言する」児童のみが、市及び全国の正答率を大きく上回っている。逆に、「ほとんど発言しない」を含めて、授業中に発言しない児童の正答率は市及び全国の正答率を下回っている。

(13) 携帯電話やスマートフォンで通話やメールをしていますか。(インターネットへの接続やゲーム機能の使用を含む)

携帯電話等	1 ほぼ毎日している	2 ときどきしている	3 まったく、または、ほとんどしていない	4 携帯電話等を持っていない	無答 もしくは重答
	24.4%	26.4%	12.0%	36.4%	

携帯電話やスマートフォンの使用と正答率の関係

	1 ほぼ毎日している	2 ときどきしている	3 まったく、または、ほとんどしていない	4 携帯電話等を持っていない	市全体	全国
総合	55.6	59.4	59.2	60.0	58.6	57.8
国語	55.9	58.6	57.9	58.2	57.6	54.6
算数	55.3	60.1	60.6	61.9	59.5	60.9

(分析)

「携帯電話を持っていない」と答えた児童が最も多く、児童全体の36%以上となっている。「ときどきしている」を含め、使用している児童が全体の約51%となっており、昨年度の約52%より減っている。「携帯電話等を持っていない」と答えた児童の正答率のみが、市及び全国の正答率を上回っている。



(14) 読書は好きですか。

読書	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	無答 もしくは重答
	49.7%	30.4%	12.0%	7.3%	0.8%

読書と正答率の関係

	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	市全体	全 国
総 合	61.6	56.7	56.6	49.2	58.6	57.8
国 語	61.5	55.1	54.5	47.2	57.6	54.6
算 数	61.8	58.3	58.8	51.1	59.5	60.9

(分析)

「どちらかといえば好き」を含め、読書は好きと答えた児童は、80%以上で、昨年度の約74%を大きく上回っている。「好き」と答えた児童の正答率は、市及び全国の正答率を上回っているが、それ以外の児童の正答率は市の正答率を下回っている。

(15) 家や学校、図書館で普段（月～金曜）、1日あたりどれくらいの時間、読書を行いますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます）

読書時間	1 2時間以上	2 1～2時間	3 30分～1時間	4 15分～30分	5 15分より少 ない	6 まったくし ない	無答 もしくは重 答
	6.7%	13.6%	28.0%	21.0%	16.9%	13.6%	0.4%

読書時間と正答率の関係

	1 2時間以上	2 1～2時間	3 30分～1時間	4 15分～30分	5 15分より少 ない	6 まったくし ない	市全体	全 国
総 合	57.7	59.5	59.1	60.2	59.5	53.4	58.6	57.8
国 語	59.5	59.7	58.3	58.6	57.4	52.1	57.6	54.6
算 数	55.9	59.3	60.0	61.8	61.6	54.7	59.5	60.9

(分析)

家や学校、図書館で1日あたり30分～1時間の読書をしている児童が最も多く、児童全体の約28%となっている。「まったくしない」児童の正答率がもっとも低く、市及び全国の正答率を下回っている。

(16) 学校は好きですか。

学校好き	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	無答 もしくは重答
	60.4%	29.5%	6.0%	3.4%	0.7%

学校好きと正答率の関係

	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	市全体	全 国
総 合	60.2	57.5	52.9	49.3	58.6	57.8
国 語	58.8	56.9	54.1	49.8	57.6	54.6
算 数	61.7	58.0	51.8	48.9	59.5	60.9

(分析)

「どちらかといえば好き」を含め、学校が好きな児童は、児童全体の約90%となっている。「好き」と答えた児童の正答率は、市及び全国の正答率を上回っているが、それ以外の児童の正答率は市の正答率を下回っている。

(17) 勉強は好きですか。

勉強好き	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	無答 もしくは重答
	28.6%	39.7%	21.5%	9.9%	0.3%

勉強好きと正答率の関係

	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	市全体	全 国
総 合	65.0	58.3	55.2	48.6	58.6	57.8
国 語	61.9	57.4	56.0	50.0	57.6	54.6
算 数	68.1	59.3	54.4	47.1	59.5	60.9

(分析)

「どちらかといえば好き」を含め、勉強が好きな児童は、児童全体の68%以上で、昨年度の約64%を上回っている。「好き」と答えた児童の正答率は、市及び全国の正答率を大きく上回っている。

【中学校第3学年】 ※総合は、国語と算数・数学の問題数の合計から求めた正答率である

(1) 学校に来る前に、きちんと朝ごはんを食べてきますか。

朝食の 摂取状況	1 食べてくる	2 食べてくる ほうが多い	3 食べてこない ほうが多い	4 食べてこない	無答 もしくは重答
	90.7%	5.5%	2.7%	1.1%	0.0%

朝食と正答率の関係

	1 食べてくる	2 食べてくる ほうが多い	3 食べてこない ほうが多い	4 食べてこない	市全体	全 国
総 合	61.0	51.1	46.8	30.5	59.8	58.4
国 語	63.5	55.7	50.6	36.5	62.4	61.6
数 学	54.7	43.4	40.8	25.8	53.4	52.2
英 語	64.8	54.1	49.0	29.6	63.4	61.3

(分析)

「食べてくる」「食べてくるほうが多い」と答えた生徒は96%以上となっており、多くの生徒が、学校に来る前に朝食をとっている。「きちんと朝ごはんを食べてくる」と答えた生徒の正答率のみが、市及び全国の正答率を上回っている。

(2) 早寝、早起きを心がけていますか。

起床・就 寝の状況	1 いつも心が けている	2 だいたい心 がけている	3 あまり心が けていない	4 心がけてい ない	無答 もしくは重答
	18.0%	43.5%	30.3%	8.0%	0.2%

早寝、早起きと正答率の関係

	1 いつも心が けている	2 だいたい心 がけている	3 あまり心が けていない	4 心がけてい ない	市全体	全 国
総 合	57.7	60.8	60.9	55.1	59.8	58.4
国 語	59.8	63.1	64.2	58.4	62.4	61.6
数 学	52.1	54.3	54.3	48.7	53.4	52.2
英 語	61.3	64.9	64.2	58.1	63.4	61.3

(分析)

「だいたい心がけている」と答えた生徒が最も多くなっている。「いつも心がけている」と合わせると61.5%である。「心がけていない」と答えた生徒の正答率が、全国の正答率を大きく下回っている。

(3) 一日の睡眠時間はどれくらいですか。(土曜、日曜日は除く)

睡眠時間	1 6時間未満	2 6～7時間	3 7～8時間	4 8～9時間	5 9～10時間	6 10時間以上	無答 もしくは重答
	10.9%	36.8%	35.2%	13.8%	2.6%	0.4%	0.3%

睡眠時間と正答率の関係

	1 6時間未満	2 6～7時間	3 7～8時間	4 8～9時間	5 9～10時間	6 10時間以上	市全体	全 国
総 合	59.6	61.1	60.5	56.8	49.2	51.8	59.8	58.4
国 語	62.9	63.7	62.7	59.9	53.0	58.3	62.4	61.6
数 学	53.1	55.1	53.5	51.0	44.8	32.3	53.4	52.2
英 語	62.7	64.5	65.2	59.7	49.5	61.7	63.4	61.3

(分析)

一日の平均睡眠時間は6～7時間が最も多く、英語以外で正答率が最も高くなっている。6時間～8時間の睡眠をとっていると答えた生徒が72%となっており、この範囲の正答率が、市及び全国の正答率を上回っている。

(4) 身の回りのこと(整理・整頓など)は、自分でしていますか。

整理整頓	1 自分でしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	無答 もしくは重答
	56.2%	32.9%	9.6%	0.9%	

整理整頓と正答率の関係

	1 自分でしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	市全体	全国
総合	60.9	59.2	56.2	49.8	59.8	58.4
国語	63.6	62.1	57.8	55.7	62.4	61.6
数学	54.5	52.9	50.3	41.1	53.4	52.2
英語	64.6	62.7	60.4	52.7	63.4	61.3

(分析)

「しているほうが多い」を含め、身の回りのこと(整理・整頓など)を自分する生徒が89%以上となっており、多くの生徒が身の回りの整理・整頓は自分でやっている。(昨年度より2%下降)身の回りのことを自分でしている生徒の正答率は、市及び全国の正答率を上回っている。

(5) 先生や友だち、近所の人に出会った時、あいさつをしていますか。

あいさつ	1 あいさつをしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 あいさつをしていない	無答 もしくは重答
	56.6%	34.7%	7.6%	0.9%	

あいさつと正答率の関係

	1 あいさつをしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 あいさつをしていない	市全体	全国
総合	60.5	60.3	54.3	41.6	59.8	58.4
国語	62.7	63.4	58.2	51.4	62.4	61.6
数学	54.1	53.9	48.9	34.2	53.4	52.2
英語	64.8	63.7	55.7	39.0	63.4	61.3

(分析)

「しているほうが多い」を含め、あいさつをする生徒が全体の91%以上となっており、多くの生徒が先生や友だち、近所の人にあいさつをしている。「しているほうが多い」を含め、あいさつをしている生徒の正答率は、市及び全国の正答率を上回っている。

(6) 相手や場面に応じて、言葉づかいに気をつけていますか。

ていねいな言葉づかい	1 気をつけている	2 いるほうが多い	3 いないほうが多い	4 気をつけていない	無答 もしくは重答
	67.4%	28.6%	3.4%	0.5%	

言葉づかいと正答率の関係

	1 気をつけている	2 いるほうが多い	3 いないほうが多い	4 気をつけていない	市全体	全国
総合	61.0	58.2	52.9	33.9	59.8	58.4
国語	64.0	60.1	55.7	42.4	62.4	61.6
数学	54.0	53.0	48.6	27.1	53.4	52.2
英語	65.0	61.4	54.5	31.8	63.4	61.3

(分析)

「気をつけているほうが多い」を含め、言葉づかいに気をつけている生徒は96%となっている。「言葉づかいに気をつけている」と答えた生徒の正答率が、市及び全国の正答率を上回っている。逆に、「気をつけていないほうが多い」を含め、言葉づかいに気をつけていない生徒の正答率は、市及び全国の正答率を下回っている。

(7) 学校のものや公共物を大切にしていますか。

ものの扱い方	1 大切にしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	無答 もしくは重答
	79.4%	18.8%	1.6%	0.2%	

ものの扱い方と正答率の関係

	1 大切にしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	市全体	全国
総合	60.8	57.2	42.1	32.3	59.8	58.4
国語	63.6	59.7	41.3	40.5	62.4	61.6
数学	54.2	51.4	38.9	26.5	53.4	52.2
英語	64.6	60.4	45.9	30.0	63.4	61.3

(分析)

「大切にしている」と答えた生徒が最も多く、「しているほうが多い」を含め、大切にしている生徒の割合は98%以上となっている。「大切にしている」と答えた生徒の正答率が、市及び全国の正答率を上回っている。「していないほうが多い」を含め、大切にしていない生徒の正答率は、市及び全国の正答率を大きく下回っている。

(8) 学校のきまりを守って生活していますか。

きまりを守る	1 守っている	2 守っているほうが多い	3 守っていないほうが多い	4 守れていない	無答 もしくは重答
	72.2%	25.3%	2.1%	0.2%	

学校のきまりと正答率の関係

	1 守っている	2 守っているほうが多い	3 守っていないほうが多い	4 守れていない	市全体	全国
総合	61.1	57.7	39.8	47.3	59.8	58.4
国語	63.7	60.4	43.3	60.0	62.4	61.6
数学	54.6	51.8	35.8	29.5	53.4	52.2
英語	65.1	60.7	40.4	52.0	63.4	61.3

(分析)

「守っているほうが多い」を含め、守っている生徒は97%以上となっており、ほとんどの生徒が学校のきまりを守って生活している。「守っている」と答えた生徒の正答率が、市及び全国の正答率を上回っており、「していないほうが多い」を含めて、守れていない生徒の正答率は、市及び全国の正答率を大きく下回っている。

(9) 普段ものごとを最後までやり遂げようとしていますか。

やり遂げる	1 している	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	無答もしくは重答
	45.1%	45.3%	7.1%	1.4%	1.1%

ものごとをやり遂げることと正答率の関係

	1 している	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	市全体	全国
総合	62.2	59.2	53.1	42.9	59.8	58.4
国語	64.0	62.4	58.0	51.2	62.4	61.6
数学	56.3	52.6	45.1	33.5	53.4	52.2
英語	66.3	62.6	55.8	44.0	63.4	61.3

(分析)

「しているほうが多い」を含め、やり遂げようとしている生徒は90%以上となっており、おおむね最後までやり遂げようとしている現状である。ものごとを最後までやり遂げようとしている生徒の正答率のみが、市及び全国の正答率を上回っている。「していない」生徒の正答率は、市及び全国の正答率を大きく下回っている。

(10) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日～金曜日）1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾や家庭教師を含む）

勉強時間	1 3時間以上	2 2～3時間	3 1～2時間	4 30分～1時間	5 30分より少ない	6 まったくしない	無答もしくは重答
	10.1%	27.6%	33.2%	15.6%	6.0%	7.3%	0.2%

勉強時間と正答率の関係

	1 3時間以上	2 2～3時間	3 1～2時間	4 30分～1時間	5 30分より少ない	6 まったくしない	市全体	全国
総合	67.1	63.2	58.8	58.6	56.1	47.1	59.8	58.4
国語	67.2	64.6	61.5	63.1	60.1	53.7	62.4	61.6
数学	61.6	57.6	52.2	51.2	48.9	40.0	53.4	52.2
英語	72.5	67.4	62.8	61.4	59.1	47.5	63.4	61.3

(分析)

学校の授業時間以外に1日あたり1～2時間勉強している生徒が最も多い。1時間以上勉強している生徒が全体の約71%である。すべての教科において、1時間以上勉強している生徒の正答率は、全国の正答率を上回り、2時間以上勉強している生徒は市及び全国の正答率を大きく上回っている。一方、30分未満の生徒の正答率は市及び全国の正答率を下回っている。

(11) 学校の授業で黒板に書いてあることや、先生の説明をノートに書いていますか。

書くこと	1 きちんと書いている	2 書いているほうが多い	3 書いていないほうが多い	4 書いていない	無答 もしくは重答
	86.1%	11.7%	1.0%	0.4%	0.7%

ノートに書くことと正答率の関係

	1 きちんと書いている	2 書いているほうが多い	3 書いていないほうが多い	4 書いていない	市全体	全国
総合	61.4	51.0	40.6	27.0	59.8	58.4
国語	63.8	55.6	46.5	29.0	62.4	61.6
数学	55.0	45.3	33.9	27.7	53.4	52.2
英語	65.5	52.0	41.5	25.4	63.4	61.3

(分析)

「書いているほうが多い」を含め、きちんと書いている生徒は、生徒全体の約98%となっており、ほとんどの生徒が、学校の授業で黒板に書いてあることや、先生の説明をノートに書いている。「きちんと書いている」と答えた生徒の正答率のみが、市及び全国の正答率を上回っている。「書いていないほうが多い」「書いていない」と答えた生徒は市及び全国の正答率を大きく下回っている。

(12) 授業中に発言をしますか。

発言する	1 よく発言する	2 ときどき発言する	3 ほとんど発言しない	4 まったく発言しない	無答 もしくは重答
	27.6%	46.6%	17.5%	8.1%	0.2%

授業中の発言と正答率の関係

	1 よく発言する	2 ときどき発言する	3 ほとんど発言しない	4 まったく発言しない	市全体	全国
総合	67.2	60.0	52.3	49.0	59.8	58.4
国語	67.4	62.6	57.6	55.1	62.4	61.6
数学	62.0	53.8	44.4	40.9	53.4	52.2
英語	72.2	63.7	54.8	50.8	63.4	61.3

(分析)

「ときどき発言する」と答えた生徒の割合が最も多い。「ときどき発言する」を含め、発言する生徒の正答率は、市及び全国の正答率を上回っているが、逆に「ほとんど発言しない」を含めて、発言しない生徒の正答率は、市及び全国の正答率を下回っている。

(13) 携帯電話やスマートフォンで通話やメールをしていますか。(インターネットへの接続やゲーム機能の使用を含む)

携帯電話等	1 ほぼ毎日している	2 ときどきしている	3 まったく、または、ほとんどしていない	4 携帯電話等を持っていない	無答 もしくは重答
	61.0%	16.6%	5.3%	16.6%	0.5%

携帯電話やスマートフォンの使用と正答率の関係

	1 ほぼ毎日している	2 ときどきしている	3 まったく、または、ほとんどしていない	4 携帯電話等を持っていない	市全体	全国
総合	59.0	58.8	60.3	63.6	59.8	58.4
国語	61.7	61.2	63.4	66.3	62.4	61.6
数学	52.3	52.6	54.3	58.1	53.4	52.2
英語	62.8	62.5	63.1	66.6	63.4	61.3

(分析)

「ほぼ毎日している」と答えた生徒が61%と最も多く、昨年度の約56%から5%増加している。「携帯電話等を持っていない」と答えた生徒は昨年度の約19%から減少している。「ほぼ毎日」「ときどき」している生徒の正答率が、市の正答率を下回っている。「まったく、または、ほとんどしていない」と答えた生徒、携帯電話をもっていない生徒は全国の正答率を上回っており、特に、もっていない生徒は市及び全国の正答率を上回っている。

(14) 読書は好きですか。

読書	1 好き	2 どちらかといえば好き	3 どちらかといえば好きではない	4 好きではない	無答もしくは重答
	45.6%	29.6%	13.5%	11.3%	0.0%

読書と正答率の関係

	1 好き	2 どちらかといえば好き	3 どちらかといえば好きではない	4 好きではない	市全体	全国
総合	63.2	58.5	57.2	52.3	59.8	58.4
国語	67.2	61.2	57.5	52.5	62.4	61.6
数学	56.3	51.8	52.2	47.3	53.4	52.2
英語	66.1	62.6	61.9	57.1	63.4	61.3

(分析)

「どちらかといえば好き」を含め、読書が好きな生徒は75%以上で、昨年度の約77%より減少している。「好き」と答えた生徒の正答率のみが、市及び全国の正答率を上回っている。一方、「どちらかといえば好きではない」を含め、好きではない生徒の正答率は比較的低く、特に、好きではない生徒は、市及び全国の正答率を下回っている。

(15) 家や学校、図書館で普段（月曜日～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます）

読書時間	1 2時間以上	2 1～2時間	3 30分～1時間	4 15分～30分	5 15分より少ない	6 まったくしない	無答もしくは重答
	4.5%	9.1%	19.7%	25.9%	26.0%	14.6%	0.2%

読書時間と正答率の関係

	1 2時間以上	2 1～2時間	3 30分～1時間	4 15分～30分	5 15分より少ない	6 まったくしない	市全体	全国
総合	58.9	58.7	60.2	63.5	62.5	48.7	59.8	58.4
国語	65.4	63.9	63.5	65.8	64.1	50.5	62.4	61.6
数学	52.7	52.4	53.2	56.9	56.4	42.9	53.4	52.2
英語	58.9	59.8	63.8	67.8	67.0	52.5	63.4	61.3

(分析)

家や学校、図書館で1日あたりの読書時間について「まったくしない」「15分より少ない」と答えた生徒の割合が全体の40%以上で昨年度の約39%より増加している。まったくしない生徒の正答率は、市及び全国の正答率を大きく下回っている。



(16) 学校は好きですか。

学校好き	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	無答 もしくは重答
	48.7%	36.0%	9.3%	5.7%	0.3%

学校好きと正答率の関係

	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	市全体	全 国
総 合	61.0	60.3	56.9	50.8	59.8	58.4
国 語	63.0	63.1	61.4	55.4	62.4	61.6
数 学	54.6	54.0	49.8	45.2	53.4	52.2
英 語	65.5	63.6	59.5	51.7	63.4	61.3

(分析)

「好き」「どちらかといえば好き」と答えた生徒は、生徒全体の約85%で昨年度の約83%から増加している。この生徒の正答率は、市及び全国の正答率を上回っている。「どちらかといえば好きではない」を含め、好きではない生徒の正答率は市及び全国の正答率を下回っている。

(17) 勉強は好きですか。

勉強好き	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	無答 もしくは重答
	8.3%	20.7%	37.5%	33.2%	0.2%

勉強好きと正答率の関係

	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	市全体	全 国
総 合	68.3	64.9	60.0	54.3	59.8	58.4
国 語	69.1	66.8	62.3	58.4	62.4	61.6
数 学	62.9	59.3	53.1	47.8	53.4	52.2
英 語	73.1	68.6	64.6	56.7	63.4	61.3

(分析)

「どちらかといえば好きではない」「好きではない」と答えた生徒は、生徒全体の約71%で、昨年度の約69%から増加している。「好き」「どちらかといえば好き」と答えた生徒の正答率は、すべての教科において市及び全国の正答率を大きく上回っている。逆に「好きではない」と答えた生徒の正答率が、すべての教科において市及び全国の正答率を下回っている。

## 8 まとめ

学力調査の結果から、領域別・観点別の結果の一部や小学校第3学年算数に課題が見られるものの、昨年度に引き続き全国標準値を上回っている。これは、教員一人一人が日々の授業の充実を図り着実に取り組んできたこと、各学校が作成し実践している「学力向上プラン」による取組が充実してきたこと、委嘱研究や自主研究を計画的に行うこと、各種研修会を行うことで教員の資質が向上したことなどが要因であると考えられる。

校種別に見ると、小学校では、

- 総合した標準得点値で見ると、22校中17校で全国標準を上回っている。
- 第3学年算数以外、国語と算数の標準得点在全国標準値を上回っている。
- 領域別・観点別における全国の平均正答率との比較では、第3学年、第5学年、第6学年の国語、第4学年、第5学年の算数で全ての領域・観点で全国を上回っている。

中学校では、

- 総合した標準得点値で見ると、11校中9校で全国標準を上回っている。
- すべての学年の国語、数学（算数）、英語の標準得点在全国標準値を上回っている。
- 領域別・観点別における全国の平均正答率との比較は、第1学年、第2学年の国語、第2学年、第3学年の英語のすべての領域・観点で全国を上回っている。

各学校では、自校の学力調査結果から成果と課題を明確化、共有化して「学力向上プラン」を改善・充実させるとともに、各学年の指導内容を確実に定着させるべく、学年の特徴や一人一人の児童生徒の実態に応じた、具体的で、きめ細かな指導の手立てを計画し、継続的に指導することが重要である。特に、1時間ごとの授業の指導目標の達成、指導の充実に向けて、「学力向上プラン」の内容を着実に実施していく必要がある。

また、授業研究会・研究協議会等において、その授業実践における具体的な手立ての効果を検証し、さらなる改善を図ることが大切である。

小学校第6学年及び中学校第3学年では、継続して質問紙調査を行い、学力との相関関係を分析している。各学校では、教職員が一丸となり、「規律ある態度」の育成や学習規律の確立に向け、家庭や地域住民等との連携も深めながら、各校独自に工夫した実践を続けている。調査結果から伺えるように、正しい言葉づかいやあいさつなどの「規律ある態度」に関する内容や、「早寝・早起き・朝ごはん」をはじめとする規則正しい生活のリズムは、学力を向上させる基盤となるものである。また、ノートをしっかりと取ることや発表すること、家庭学習を行うことも学力向上に大きく影響することが分かる。今後も、基本的な学習規律や生活習慣を一層確立

するため、中学校区での小・中学校 9 年間を見通した指導連携、家庭・地域との連携をさらに推進することが重要である。

教育委員会では、各学校が、今回及びこれまでの調査結果を生かし、委嘱研究や授業研究会等をとおして学習指導の工夫・改善を図ることができるよう支援する。また、学校・家庭・地域が連携をさらに深め、互いに協力して児童生徒一人一人に確かな学力を身に付けさせることができるよう働きかけていく。